



ばらばらで一緒

～美香保中だより～

発行 札幌市立美香保中学校

住所 東区北17条東6丁目1-1

電話 (011)-711-8151

キャリア学習の日を行いました



本校では、11月に「キャリア学習の日」を設定し、生徒一人一人が自分の課題に向き合い、将来の自分の姿を思い描きながら学習を進めています。特に2年生は、「職場体験」として多くの地域の方の御協力のもと、少人数のグループに分かれ、企業やお店、事業所で体験をさせていただきました。今後は生徒一人一人が自分の課題に対して考えをまとめ、プレゼンテーションを行い、学びの成果を交流する予定です。

【1年】『職業調べ』

キャリア教育誌「さくらノート」で地域で働く人や職業の種類を知り、職業適性検査をもとに自分に向いていると思った職業や興味のある職業について調べ学習を行いました。書籍やクロムブックを用いてその職業になるために必要なことやその職業のやりがいなどを調べ、プレゼンテーション資料にまとめました。3学期には、その資料を基に発表し合う機会を通して、幅広い職業について学ぶ予定です。

【2年】『職場体験』

2学期に入ってから職場体験でお世話になる事業所に電話をし調整をしてきました。当日は新規事業所を中心に挨拶に回りましたが、美香保中関係者として行くと生徒の顔がホッとしたようになるのが印象的でした。スーパーでは野菜の袋詰め、シール貼り。ホテルでは裏方で皿磨き。保育園では子どもたちと一緒に遊んだり職員さんながら仕事の一方で、病院や会社などでは実務は難しいので研修を受けていたところもありました。地域の方々の温かな見守りを感じた一日でした。
(地域学校協働活動推進員)

【3年】『私たちがつくる社会』

SDGsの17の目標をもとに、一人一人が「わたしたちが、今できる社会参画はなんだろう。」と考え、その考えたことから6グループに分かれ、キャリア学習の日に行いました。近隣の公園や創成川沿いのゴミ拾いを企画し呼びかけたグループは、残念ながら校外の参加者は集まりませんでした。仲間と協力し美化活動に励みました。また、小学生に向けて、プレゼンテーションや紙芝居で自分たちの思いを堂々と伝えたり、ポスターを作成し地域のスーパーや区役所に掲示をお願いに行ったりするグループもありました。リサイクルボックス設置グループは、古着を集める中で、物の大切さに気付いてもらおうと、丁寧にボックスを作成していました。

生徒作文

初めての合唱コンクール

私は、この初めての合唱コンクールが1年1組に大きな影響を与えたと感じた。その理由は二つある。

まずは「バラバラ」なみんなが「一つ」になれたことだ。私は、入学式のときに校長先生が言っていた「バラバラで一緒」がどういう意味なのかあまり分かっていなかった。きっと一年生のほとんどは理解していなかっただろう。でも練習を重ねる度にこのクラスはすごく団結力があって、まさにこれが「バラバラで一緒」なんだと思った。そしてこの団結力を高めることができたのは合唱コンクールの練習を全員が全力を出して頑張ったからだと感じた。これが一つ目の理由だ。

二つ目は、クラスメイトの表情の変化だ。合唱コンクールの練習が始まったとき、最初はみんな「やりたくないな。」「早く帰りたい。」という表情をしていた。自分も最初は「早く部活に行きたいのに。」と思っていた。でも、二年生や三年生との合同練習で、たくさんほめてもらい、合唱コンクール当日に近づくにつれてみんなのやる気が増えていった。そして迎えた当日。楽屋で発声練習をしているみんなの顔には緊張と不安が浮かんでいた。でも、ステージにあがる前小さい声での円陣をしたときは全員やる気に満ち溢れていた。その時私は、「1年1組って最高だな」と感じた。最初はやる気がなかったのに、最後には金賞をとるほど全力で頑張れたところから成長を感じられたのがすごく嬉しかった。

もうこの1年1組のメンバーと一緒に何かすることは少ないから、この合唱コンクールくらい最高の思い出をたくさんつくってほしいなと思った。



生徒作文

合唱コンクールを終えて

今年の合唱コンクールで心に残っていることは、大きく二つあります。一つは練習を通しての自分の成長、もう一つは他学年の合唱、特に三年生の学年合唱「大地讃頌」です。

まず、練習についてです。合唱練習が始まった頃、私は自分は合唱向きのきれいな声を出せていると思い込み、自信をもって歌っていました。しかしある日、同じ低音パートの友達から「地声で歌っているよ」と指摘されました。今振り返れば、その言葉は正しく、改善すべきは私のほうでしたが、当時の私は予想外の指摘に戸惑い、思わず怒りの気持ちを向けてしまいました。

その後、先生に注意を受け、私は周りからの指摘を素直に受け止めてみることにしました。すると、自分の声は驚くほど変わり、少しずつ本当に合唱らしい声で歌えるようになっていきました。この経験を通して、私は二つの大切なことに気づきました。「人の言葉をしっかり聴くことの大切さ」と「成長していくことの楽しさ」です。

次に、他学年の合唱についてです。中でも三年生の学年合唱「大地讃頌」は、特に心に残りました。この曲は独特のリズムや響きがあり、聞いているだけでも難しい曲だと分かります。しかし三年生は、美しいハーモニーと自然の壮大さを感じさせる力強い歌声で、見事に歌い上げていました。その歌声に私は圧倒され、「いつか自分たちもこんな合唱をしたい」と強く憧れを抱きました。

失敗や憧れは、人を成長させてくれるものです。私は今回の合唱コンクールを通して、まさにそのことを実感しました。この経験で得た成長を、これからの学校生活でも大切にしていきたいと思います。

生徒作文

楽しかった合唱コンクール

中学校生活最後の合唱コンクールの感じたことや思い出になったことが二つあります。

一つ目は、毎朝の練習についてです。本当はとてもきつくて、自分に甘くなって遅刻してしまった日や、みんな来るのが遅くなり、そのため練習もすぐに始められず怒られたりもしました。しかし、当日に近づくにつれて気がひきしまりました。そして全員が一体になって練習したときの合唱を聴いて自分でも鳥肌が立つくらい「めっちゃいい合唱になったな」って感動しました。

2つ目は前日の練習です。緊張も疲れもあったけどみんなで支え合った結果、最高にいい歌が歌えました。そして、円陣を組んだとき、このクラスで歌えてよかったなと思いました。つらいときは友達が支えてくれたり、休憩中はおもしろくしてくれたりなど、毎日が楽しかったのを思い出しました。当日、無事金賞がとれて改めてこのクラスで本当によかったなと思いました。

これからもまだまだクラス全体で支え合って、クラスみんなで卒業までいっぱい思い出を作っていきたいと思いました。



生徒作文

合唱コンクール

今年の合唱コンクールは、歌うことに成功しました。

練習する時は歌うのが恥ずかしかったですが楽譜を見ながら、少しずつ歌えるようになりました。本番では下を向かないで指揮者の方を向いて大きな声ではっきりと歌えました。学年合唱や 5 組の合唱交流にも参加することができました。上手に歌えたので父と母や先生に褒められて嬉しかったです。みんなががんばって歌えたことで、金賞がもらえたのですごく嬉しかったです。来年最後の合唱コンクールでは、大きな声で歌うことと、指揮者になれたらがんばりたいと思います。

みかほっ子応援団

合唱コンのサポートに来てくれた大谷大学の学生さんたち

は、「また、機会があれば、美香保中のみなさんと一緒に、合唱練習したいです。」と当日参加できなかったことを残念がっていました。11 月 17 日には、社会教育について勉強している大谷大学の学生さんたちが、小・中学生と一緒に遊びながら交流を広げる企画を中学生に向けて提案しに来てくれました。みかほっ子への応援、本当にありがとうございます。

